

2016年3月期 第1四半期 決算参考データ

2015年7月30日

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

本資料に記載されている業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、経済情勢をはじめさまざまな要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おきください。

2016年3月期第1四半期 業績(前年同期比)

	2014年度Q1 実績		2015年度Q1 実績		前年同期比	
	金額(億円)	利益率	金額(億円)	利益率	金額(億円)	伸び率
売上収益	740	—	769	—	+28	+3.9%
売上総利益	166	22.5%	174	22.6%	+7	+4.5%
その他の収益及び費用	▲155	—	▲157	—	▲1	+1.2%
営業利益	11	1.5%	16	2.2%	+5	+47.9%
四半期利益	7	1.0%	11	1.5%	+3	+52.7%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	7	1.0%	11	1.5%	+4	+64.9%
受注高	839	—	730	—	▲109	-13.0%
受注残高	2,053	—	1,977	—	▲76	-3.7%

主な増減要因

【売上収益】

携帯キャリア向けや、海外子会社などで増加。

【売上総利益】

増収や、不採算案件の減少などにより増益。

【その他の収益及び費用】

概ね前年並み。

【営業利益】

売上総利益の増加により増益。

【受注高】

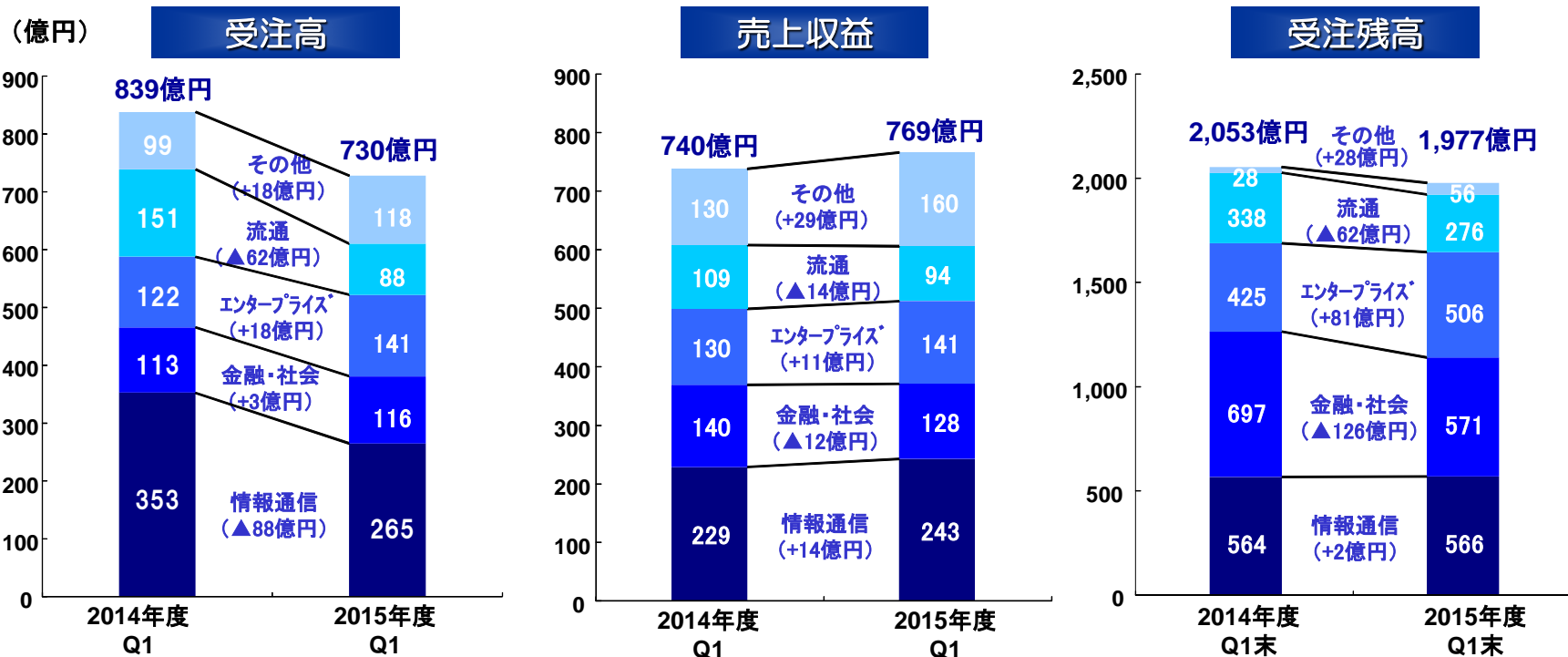
携帯キャリアやコンビニ向けなどで減少。

【受注残高】

郵便やコンビニ向けなどで減少。

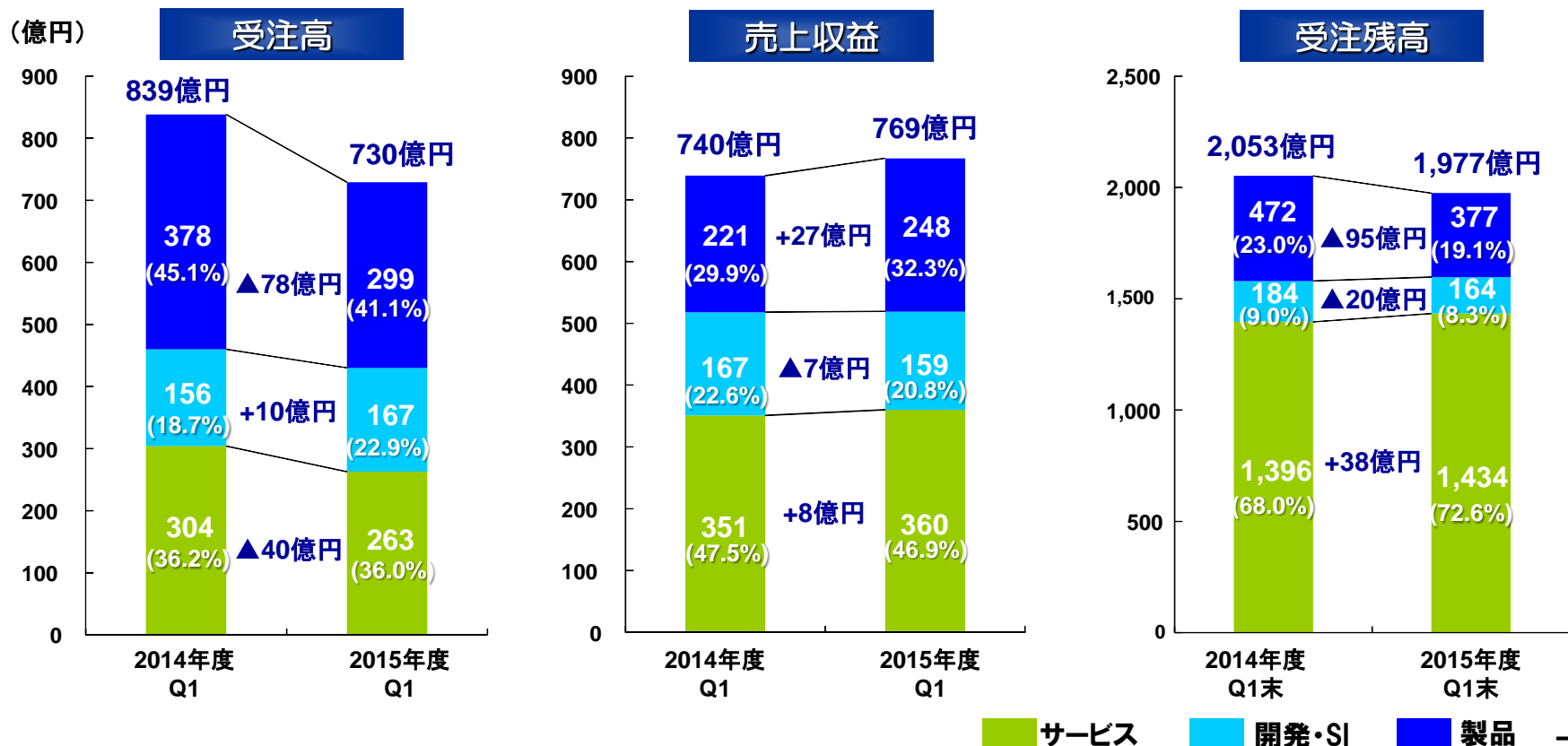
事業グループ別(前年同期比)

- 情報通信：受注は携帯キャリア向けネットワーク案件が減少。売上は前年度受注残からの寄与もあり増加。
- 金融・社会インフラ：受注は横ばい。売上は郵便向けインフラ案件などが減少。
- エンタープライズ：受注は住宅関連企業や製造向けインフラ案件などが増加。
売上は、運輸向け開発案件や、精密機器向けインフラ案件などが増加。
- 流通：受注はコンビニ向け案件が減少。売上は食品卸向け開発案件やコンビニ向け案件が減少。
- その他：受注・売上共に海外子会社2社で増加。

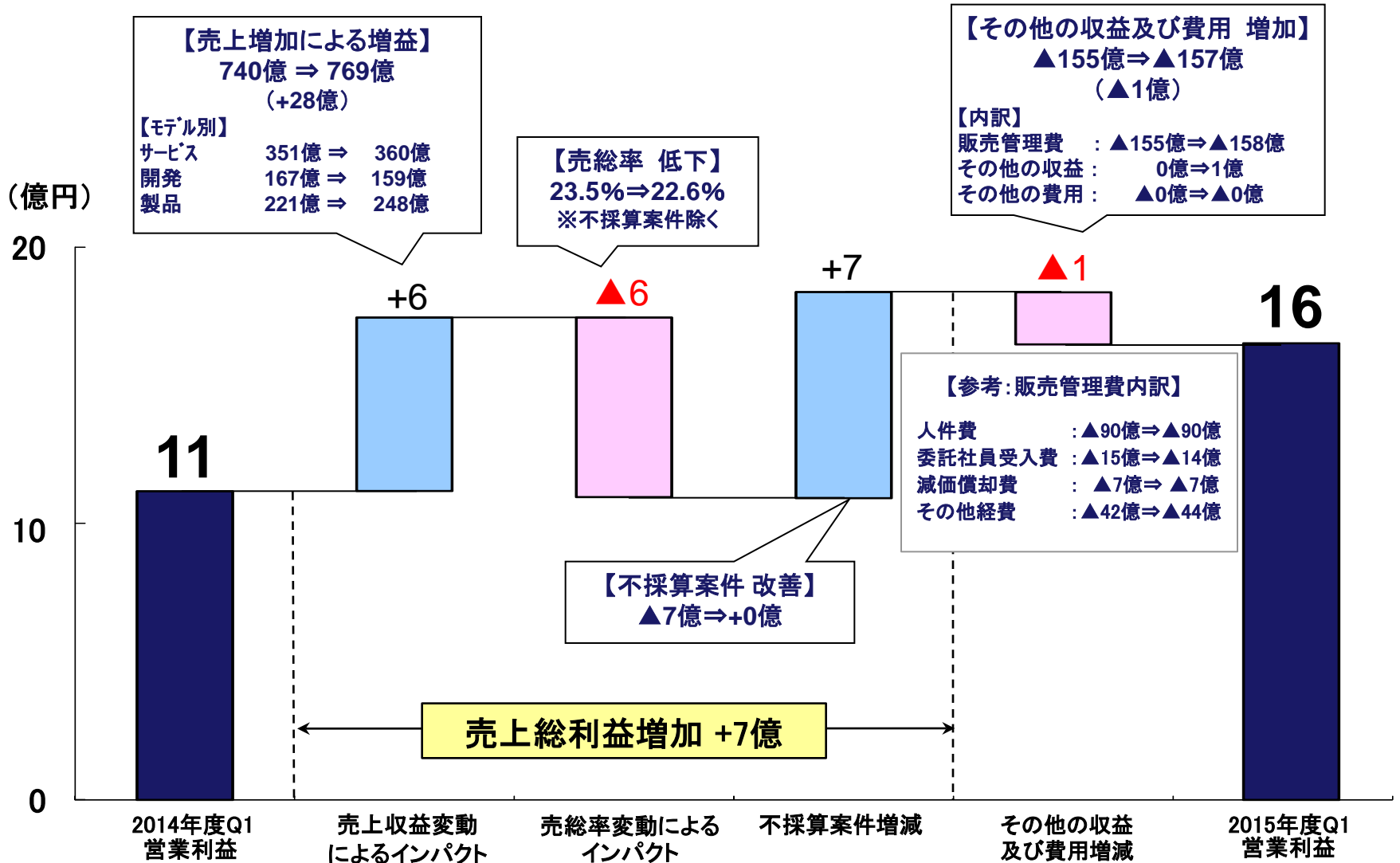


ビジネスモデル別(前年同期比)

- サービス: 受注は携帯キャリア向け製品保守やコンビニ向けシステム運用などが減少。売上は携帯キャリアや郵便向けの製品保守などが増加。
- 開発・SI: 受注は運輸や商社向け開発が増加。売上は郵便向けインフラ構築や食品卸向け開発が減少。
- 製品 : 受注は携帯キャリア向けネットワークやコンビニ向け店舗関連機器が減少。売上は海外子会社2社にてサーバなどが増加。



営業利益増減要因(前年同期比)



CTC

Challenging Tomorrow's Changes